



2026年1月23日(金)開催
特許調査セミナー

特許分類活用コース 事前課題1～2

本編受講までにご検討ください

本編のための課題(宿題)

1. 課題1-1
2. 課題1-2
3. 課題2

本編受講の際に検討結果をご用意ください
本編にて解説します

課題1-1（先行技術調査）

• 事例1: 乳幼児用バスタブ

- 合成樹脂製のバスタブ(10)
- 乳幼児の体の曲線に合わせて成型され、着脱可能な造型敷板(20)

• 検索式の例

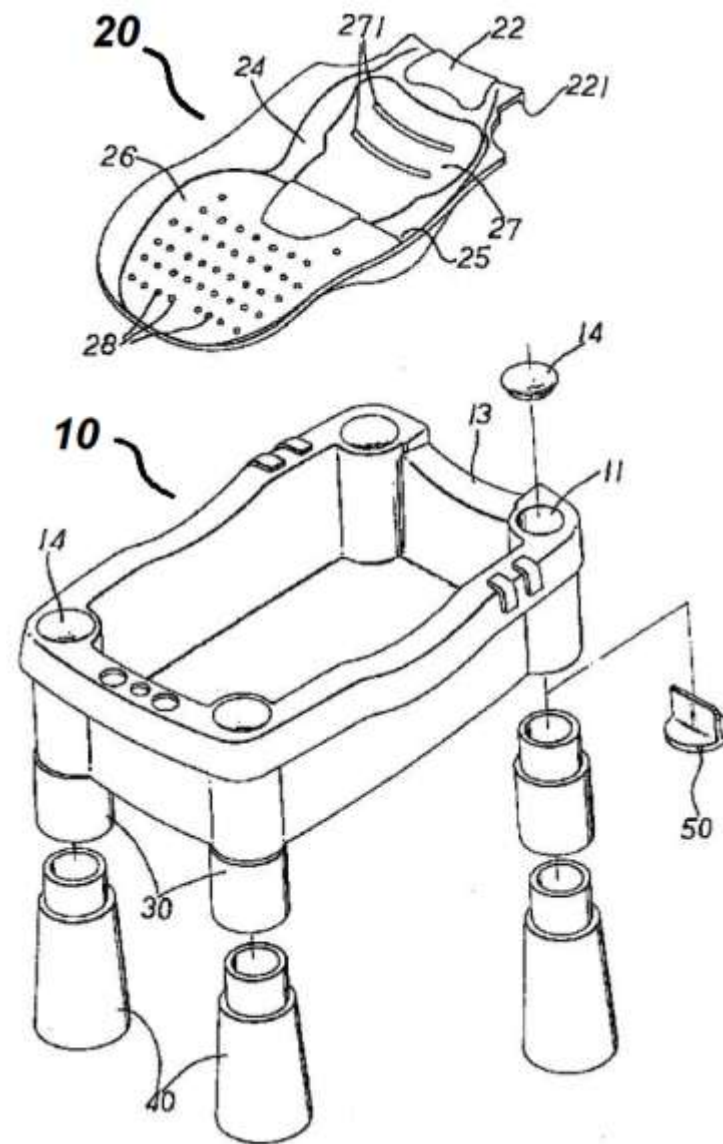
問題ないか考えてみてください

テキスト(全文)

- A47K3/024/FI * (樹脂+プラ)/TX
- A47K3/024/FI * (浴槽+バスタブ)/TX
- 2D132AB02/FT * 2D132BA00/FT

Fターム

検索式は、J-PlatPatの論理式形式に準ずる



課題1-2（先行技術調査）

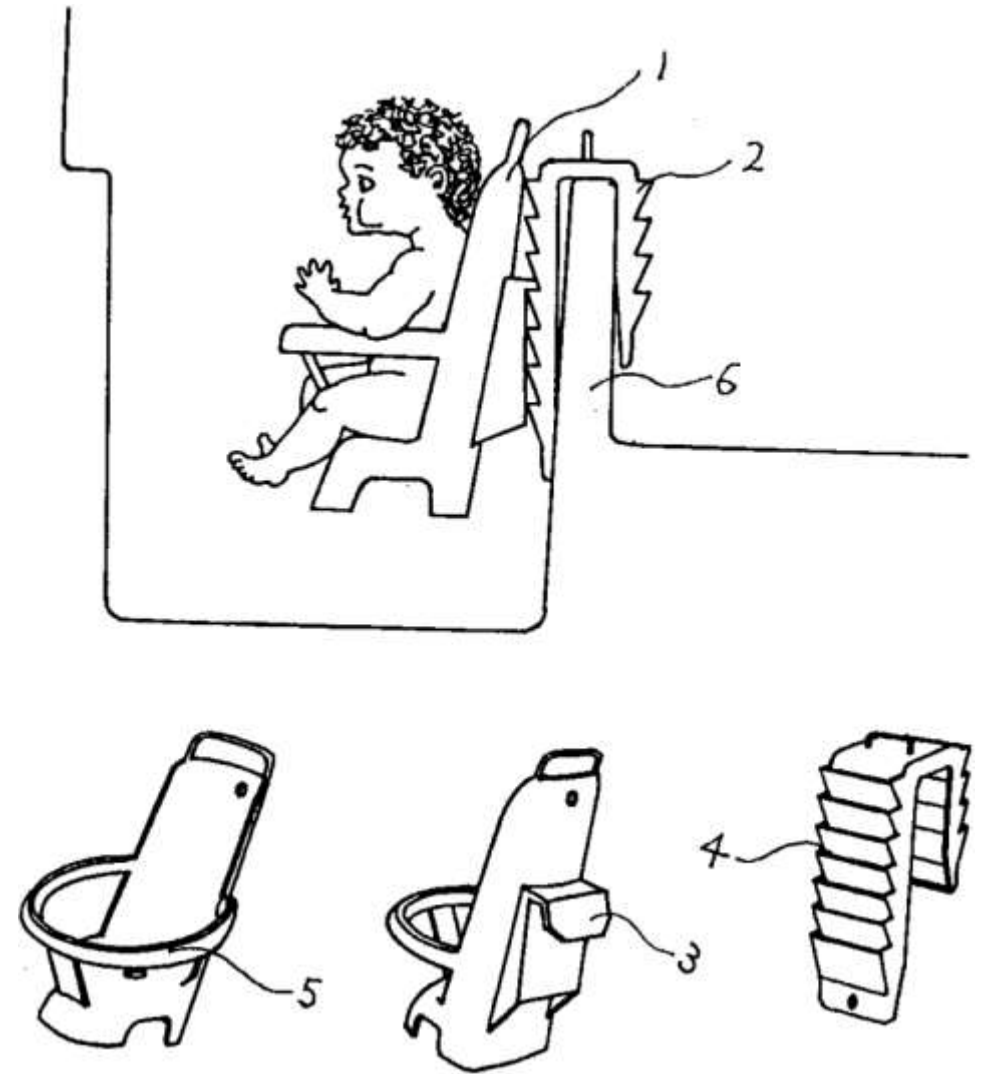
- 事例2: 乳幼児用入浴補助具

- 右図の通り高さが可変

- 検索式の例

問題ないか考えてみてください

- 2D132BA02/FT
* (高さ+深さ+上下)/TX
- (A47K3/024+A47K3/034)/FI
* (乳幼児+乳児+幼児+嬰兒)/TX
* (高さ+深さ+上下)/TX



検索式は、J-PlatPatの論理式形式に準ずる

課題2（先行技術調査）

- 下記発明の先行技術調査を実施するにあたり、
検索に使用すべきFI, Fターム, CPCをそれぞれ特定してください。

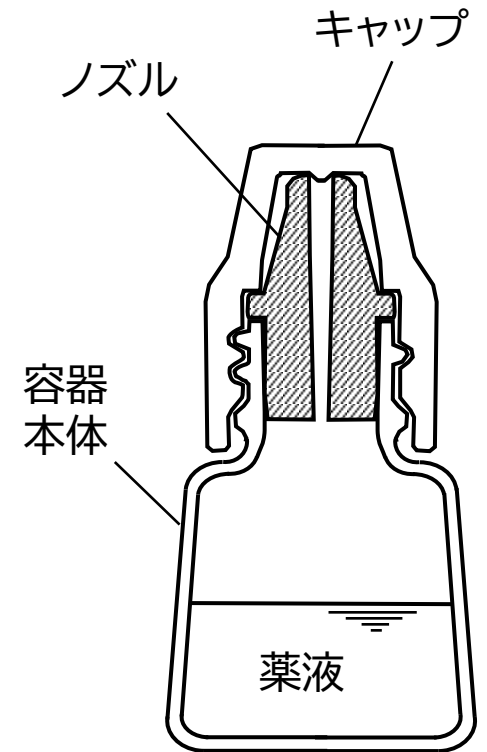
【発明の名称】点眼薬容器

【請求項1】

薬液収容する容器本体と
前記容器本体の口部に装着され薬液を滴下するためのノズルと、
前記口部に着脱可能に設けられ前記ノズルを開閉するためのキャップ
とを具備した点眼薬容器において、
前記ノズルを着色材料で形成し、
前記キャップを透明な樹脂で形成したことを特徴とする点眼薬容器

【目的】キャップを装着した状態においても薬液の種類を判別可能にする。

【解決手段】ノズルの色を薬液の種類に応じて変えるとともに、キャップを透明にすることにより、キャップ装着状態でも薬液の種類が判別可能となる。



Thank you.

本編もよろしく
お願いいたします

無断転載および複製を禁じます。
著作権は株式会社RWSグループに帰属します。

特許調査セミナー 特許分類活用コース導入編
2025年12月～2026年1月

